

# Oracle WebCenter Suite 10g Release 3

## 製品のサマリー

Oracle WebCenter Suite 10g  
Release 3 のコンポーネント

- Oracle WebCenter Framework
- Wiki、ディスカッション・フォーラム、分析、および REST ベースのアプリケーション統合を含む
- Oracle WebCenter Services の Web 2.0 のコラボレーション
- Oracle WebCenter Interaction の機能は、チーム・ベースのコミュニティ・スペースを実現するため、クロス・プラットフォーム統合 (.NET と Java) およびコンテンツとコラボレーション・アプリケーションとの統合機能により、オープンで拡張可能なソリューションを提供
- Oracle WebCenter Anywhere
- 追加機能として検索、コンテンツ管理、プレゼンス、およびワークフローを提供

サポートする標準規格

- アプリケーション: JSF、MVC
- セキュリティ: WS-Security、JAAS
- ポータル: JSR 168、WSRP 1.0 および 2.0、JSR 301
- コンテンツ: Documentum、SharePoint、および Notes へのコネクタ搭載の JCR/JSR 170
- データ・モデル: JSR 227
- 通信: SIP/JSR
- 配置: JSR 88

Oracle WebCenter Suite は、業界でもっとも統合化された、包括的で標準に準拠するユーザー・インタラクション製品スイートであり、幅広いソリューションを展開するための Web 統合およびインタフェース・サービスを提供します。これには、検索、公開、そしてナレッジ・マネジメントをシームレスに結合する Enterprise 2.0 のコラボレーティブでソーシャルなアプリケーションのカスタム開発に対応する、独自の機能を備えたポータルと複合アプリケーションが含まれます。SOA 環境の一部として、Oracle WebCenter Suite は企業システムをより効果的にユーザーと結びつけるための価値ある新機能を提供し、インフォーマション・ワーカーの生産性と既存 IT 投資の価値を高めます。

## 包括的で統合されたユーザー・インタラクション機能

Oracle WebCenter Suite は、ソーシャル・アプリケーション、エンタープライズ・ポータル、コラボレーティブ・コミュニティ、複合アプリケーション、Oracle Enterprise Content Management Suite によるインターネット/イントラネット Web サイトなど、すべて標準ベースでサービス指向アーキテクチャに基づいて構築された統合製品のセットです。このスイートは、動的ユーザー・インタフェース技術により Rich Internet Application (RIA) の開発や、統合された複数チャネルのポータル・フレームワークによる機能と柔軟性、そしてコンテンツ、コラボレーション、プレゼンス、ソーシャル・ネットワーク機能を提供する水平型の Enterprise 2.0 サービスのセットを統合しました。Oracle WebCenter Suite は、ユーザーがポータルまたはアプリケーションのコンテキスト内で、インスタント・メッセージング、ドキュメント、コンテンツ、VoIP、ディスカッション・フォーラム、Wiki などのサービスを使用して直接やり取りするための、オープンで拡張性のあるソリューションを提供します。これにより、よりアクセス性の高い、効率的なユーザー・エクスペリエンスを構築します。これらのツールとサービスを組み合わせることで、エンドユーザーや IT 部門は主要な内部および外部ビジネス・プロセスの生産性を向上する次世代のコラボレーション・アプリケーションおよびポータルを構築し、配置できるようになります。

## Oracle WebCenter Suite 10g Release 3 の主要コンポーネント

**WebCenter Framework** - 宣言的な Java Server Faces (JSF) ベースのフレームワークを提供し、コンテキスト・リッチでカスタマイズ可能なアプリケーションを作成する、AJAX ベースのコンポーネント、ポートレット、およびコンテンツを組み込みます。Oracle JDeveloper への拡張機能を提供することで、J2EE アプリケーション、SOA プロセス、BI アプリケーション、およびエンタープライズ・ポータルの統合開発環境を実現します。

**WebCenter Services** - アプリケーションに直接埋込みが可能な Web 2.0 のコンテンツ、コラボレーション、およびコミュニケーション・サービスを組み込みます。サービスには、ディスカッション・フォーラム、Wiki、コンテンツ管理、検索、プレゼンス、REST ベースのアプリケーション統合、使用分析、および BPEL ベースのワークフローが含まれます。

**WebCenter Interaction** - 旧称 BEA AquaLogic User Interaction の機能セットであり、コラボレーティブ・コミュニティと複合ソリューションの配置において使用し

ます。これらの機能は、.NET および Java 環境をネイティブでサポートする広範なプラットフォーム向けに設計されたもので、インフラストラクチャ・サービスからコラボレーションまで、さらにはナレッジ・ワーカーに向けた Microsoft SharePoint の統合など、幅広い機能を提供します。

Oracle WebCenter AnyWhere - 堅牢なワイヤレス・サービスのセットで、複数チャネルでの配信のほか、デスクトップ、モバイル・ボイス、モバイル・メッセージング、およびモバイル・アプリケーションを含む、あらゆる接続機器を介してユーザーが WebCenter アプリケーションに接続し、作業できる機能を提供します。

### コンテキスト・リッチでカスタマイズ可能なソリューション - Oracle WebCenter Framework

Oracle WebCenter Framework は、追加コンポーネントや統合、ランタイム・オプションを提供して、JSF 環境を補強することで、コンテキスト・リッチなアプリケーションの構築および実施をサポートします。WebCenter Framework は、ポータル製品に搭載されている機能で、たとえばポートレットをバインドして実行時にアプリケーションをカスタマイズする機能を JSF 環境自体に直接統合します。完全な標準ベースのポートレット開発環境とビジネス・ユーザー・ツールは、JSR 168 ベースのポートレットを迅速に作成し、WSRP 1.0 および 2.0 ベースのポートレット・プロデューサの配置を支援します。また、同フレームワークには JSF-Portlet Bridge が含まれており、JSF アプリケーションを JSR 168 ポートレットへ簡単に変換できます。コンテンツは、JCR/JSR 170 標準に搭載されたデータ制御を使用して、簡単に統合や公開ができます。JCR 標準をサポートするコンテンツ・リポジトリが構成可能であり、アダプタは Oracle Content Repository、Oracle Portal、ファイル・システム、および主要なサード・パーティのコンテンツ管理システム (Documentum、Microsoft SharePoint、Lotus Notes など) に利用可能です。このほか、WebCenter Framework を Oracle JDeveloper の拡張機能として提供し、開発者が SOA プロセス・モデル、BI アプリケーション、エンタープライズ・ポータル、および複合アプリケーションを構築して配信するための統合開発環境を実現します。

### Web 2.0 のアプリケーションへの組み込み - Oracle WebCenter Services

Oracle WebCenter Services には、Web 2.0 コンテンツ、検索、コラボレーション、コミュニケーションなどのサービスがすべて含まれており、WebCenter Framework で構築したアプリケーションや既存の Oracle Portal、Oracle WebLogic Portal、および Oracle WebCenter Interaction の配置に直接組み込むことができます。さらに、カスタム・アプリケーションにも配置できます。これらのサービスには、以下が含まれます。

- ファイルやドキュメントを格納および管理する Oracle Content Repository
- Oracle WebCenter アプリケーションまたはポータルの一部として配信されたエンタープライズ・データやドキュメントの場所を探してアクセスする Oracle Secure Enterprise Search
- テキスト、ボイス、ビデオによるリアルタイム接続を提供する SIP ベースのインスタント・メッセージングとオンライン・プレゼンス
- 音声ベース・アプリケーションのためのテレフォニー・インフラストラクチャ・コンポーネント
- コミュニティの知識を共有するためのディスカッション・フォーラム
- ドキュメントやアイデアを共有する協調型オーサリングのための Wiki

#### おもな利点

- 複雑な情報管理とコラボレーションへの取組みに対応するユーザー中心のソリューションを提供し、インフォメーション・ワーカーの生産性を強化
- Web 2.0 サービス、プロセス、BI、および JSF 統合フレームワーク内のトランザクションをシームレスに融合させることで、アプリケーション開発の IT サイクル時間を改善
- Oracle E-Business Suite、Siebel、PeopleSoft、JD Edwards、および SAP との認定統合により、総所有コストを低減

#### 関連製品

- Oracle Application Server Standard Edition
- Oracle SOA Suite
- Oracle JDeveloper

- PHP、PERL、.NET、Ruby、およびほかの開発フレームワークに組み込まれた既存のアプリケーションにマッシュアップで Web リソースを組み合わせた、REST ベースのアプリケーション統合を実現する Oracle Ensemble
- ユーザー・アクティビティやコンテンツに関するメトリック・ベースのレポート分析を提供する Oracle WebCenter Analytics

### 広範なプラットフォームをシームレスに接続 - Oracle WebCenter Interaction の機能

Oracle WebCenter Interaction の機能（旧称 BEA AquaLogic User Interaction）は、異機種環境におけるチーム・ベースのコミュニティ・スペースのための、オープンで拡張可能なソリューションを提供します。これらの機能はクロス・プラットフォーム統合(.NET および Java)をサポートし、コンテンツおよびコラボレーション・アプリケーションを統合します。これらの機能には以下が含まれます。

- Oracle WebCenter Interaction は、チームが組織内および組織を越えて共同作業するための、プラットフォームに依存しないコミュニティを提供します。
- Oracle WebCenter Collaboration は、ドキュメント、タスク、およびイベントにおけるプロジェクト・チームのコラボレーション機能を提供します。
- Oracle WebCenter .NET Application Accelerator は、新規または既存の Microsoft ASP.NET アプリケーションおよびサービスを、Oracle WebCenter Suite で構築したソリューションを含む WSRP 準拠のコンシューマーに直接統合できます。
- Oracle WebCenter SharePoint Console は、Microsoft Windows SharePoint Service のパッケージ化された統合ソリューションです。ユーザーは簡単に SharePoint リソースを検索および取得し、エンタープライズ・クラスで配置された WebCenter で使用できます。

### あらゆるデバイスの WebCenter アプリケーションへアクセス - Oracle WebCenter Anywhere

Oracle WebCenter Anywhere は Oracle の堅牢なワイヤレス・プラットフォームと標準ベースのフレームワークを活用し、企業向けモバイル・アプリケーション (ADF Mobile) を迅速に開発できます。これによって、PDA、スマートフォン、モバイル・ボイス、モバイル・メッセージング、さらには産業ユーザーによる Telnet ベース機器といった接続機器を含む、あらゆる種類のモバイル技術に対応した統合作業環境の利点を享受できるようになります。WebCenter Anywhere は、ユーザーがどのようなデバイスを使用しているか、またどこにいても、コンテキスト・リッチな WebCenter アプリケーションによる生産性と効率性を提供できます。

### まとめ

SOA が提供するビジネスの機敏性を上回り、インフォメーション・ワーカーの生産性を新たなレベルへと引き上げるには、複雑な情報管理やコラボレーションへの取組みに対応する、より効果的でユーザー中心のアプリケーションおよびポータルを構築する新しいアプローチが必要です。Oracle WebCenter Suite は、Enterprise 2.0 機能をエンタープライズ・システムとアプリケーションに統合することで、エンタープライズ内および全体を通してユーザーが個別に作業するか、ほかのユーザーと作業できる、次世代コラボレーション・ポータルおよびアプリケーション構築をインフォメーション・ワーカーと IT 部門が実現するた

めの機能を提供します。同スイートは、デスクトップ・ツール、エンタープライズ・アプリケーション、ビジネス・プロセス、ビジネス・インテリジェンス、そしてドキュメントへのパーソナライズされたアクセスを提供する、複数チャネルの複合ユーザー・インタフェース統合環境（またはポータル）を実現します。同ソリューションは業界標準に基づき、新規アプリケーションを構築するための統合開発環境を提供し、今日の Web サイト、トランザクション・アプリケーション、およびエンタープライズ・ポータルで求められる異なるユーザー・インタラクションを一元化し、より効果的でソーシャルなユーザー・エクスペリエンスを構築します。